

カップルへ慈愛のまなざし

釜石大観音

恋人の聖地に

釜石市大平町の釜石大観音は、NPO法人地域活性化支援センター（静岡市、志垣恭平理事長）が認定するデートスポット「恋人の聖地」に選ばれた。県内では4カ所目で、19日に聖地の証となる銘板を受け

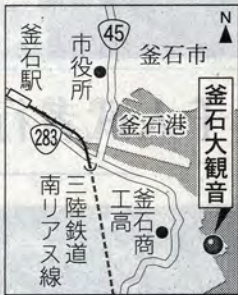
る。平和を祈願して建立した釜石大観音は「愛」の文字を刻んだ石板で知られ、大海原をバックに永遠の絆を確かめ合う場として、さらに人気を集めそうだ。

3月にファッションデザイナーの桂由美さん、華道家の假屋崎省吾さんらによる選定委員会を開き、4月に認定した。19日に東京都で銘板を受け、拝観者用エレベーター付近に掲げる予定だ。

釜石大観音は平和と慈愛の象徴とされ、大海を望む絶景も有名だ。震災後の2012年には、被災したカップルらの市民結婚式場になった。観音像の足元には「愛」の文字を刻んだ石板モニュメントや、津波でも切れなかったもやい綱のレプリカもあり、記念撮影の場として人気だ。多くの恋人や夫婦が訪れ、長く親しまれてきたことが認定につながった。

同市では昨夏、橋野鉄鉱山が世界遺産に登録され、19年にはラグビーワールドカップも予定される。釜石大観音の照井良知総務部長は「多くの

きょう銘板受け取り



「愛」の文字を刻んだ釜石大観音の石板モニュメント。カップルの記念撮影の場として人気だ

方により親しまれる場になればいい。大観音だけでなく、景勝地やイベント、近隣の恋人の聖地と連動したツアーなど、地域全体を盛り上げる

きっかけにしたい」と期待する。

「恋人の聖地」は少子化対策と地域活性化をテーマに、これまで全国222カ所が認定された。本県では釜石大観音のほか、遠野市の宮守川

橋梁・めがね橋、岩手町の石神の丘美術館、岩泉町の龍泉洞と初恋水・初恋水が選ばれている。